- ○警察の交通安全・防犯活動等への適宜適切な協力
- ○市民への防犯・交通安全に関する啓蒙活動
- ○地域における防災・BCP等への取り組み
- (2) 『刈谷式CSR/CSV』実践による企業イメージの向上
 - ○企業の社会貢献と社会福祉協議会など関係団 体のマッチング (CSR)
 - ○社会的課題に役立つ製品・サービスのPR・ 促進支援(CSV)
 - ○報道機関への効果的な広報支援による企業認 知度向上

5. 会員サービスの充実による満足度向上

- (1)組織基盤の強化のための会員企業の維持拡大
 - ○情報収集に基く未加入企業の会員勧誘
 - ○役員・関連団体との協働による事業所紹介活動
- (2)会員サービスの充実と財政基盤の強化
 - ○プレミアム共済(従業員への福利厚生)の加 入者特典の拡大強化
 - ○会員企業のメリット拡大に繋がる業務災害補 償プラン推進
 - ○健康診断(健康経営に基く経営者・従業員の 健康増進)
 - ○会館利用者増大に向けた活用の提案・懇親会 のプロデュース
 - ○日商プログラミング検定試験(新規)の導入 推進
 - ・従業員のスキルアップ支援
- (3)運営基盤の強化と危機管理への対応
 - ○会議所のリスクマネジメント・コンプライア ンスの徹底
 - ○各部会・青年部・女性会とのより一体感のある施策の推進

刈谷中小企業相談所の直面している緊急の課題は、中小・小規模企業が直面している厳しい環境下で生き残り、成長していくために、経営課題に応じた支援メニューを更に充実強化させることにあります。

特に、「働き方改革の推進」、「同一労働同一賃金への対応」、「労働力不足解消」、「ダイバーシティ経営の推進」など、「法改正への対応」や「社内規定の整備」に向け、「必要な情報」と「必要な経営支援」を迅速に提供する必要があります。

また、中小・小規模企業の人手不足は深刻な状況で、まさに喫緊の課題であります。国内の人材獲得が難しくなっている中、昨年度から立ち上げた『外国人雇用研究会』を軸に、外国人の雇用支援についても「待つ」のではなく、求める人材に直接アプローチする「攻め」の採用に対しても積極的に支援するなど、従来から実施している「現場主義」「双方向主義」という行動指針のもと、今後も、「巡回指導、窓口指導」を活動の柱に据え、多様化する小規模事業者の経営課題やニーズを的確に把握し、従来の枠組みや慣例に止まることなく新たな価値を創造し、切磋琢磨しながら積極的な支援体制の構築を図って参ります。

1. 地域中小企業活性化支援事業

中小・小規模企業を取り巻く環境は、小規模を 中心に事業所数が減少を続けるなど、抱える経営 課題が内外の事業環境の変化により高度化、複雑 化している中で、『**女性経営研究会**』では、女性



